います。

いけるよう、頑張っていきたいと思って

そして、行く行くは海外でも活躍して

沼津市議会



います。





未来の自分へ

せんが、 思えるような二年間を過ごします。 の機会にまた書いてみようと思います。 は の自分が過去を振り返るとき、 となってしまいました。 て手紙を書きました。 間は困難の連続だと思いますが、二年後 扱きます。 一年間は、 小学生のときに、十年後の自分に向け |年後の自分へ。これから過ごす二年 とうの昔に忘れてしまったので、こ 未来の自分に恥じぬよう精一杯やり 受け取る側になるまであと二年 楽しみにしていてください。 人生を左右する大事な時期で 届くことはありま 何を書いたのか 誇らしく

なりたい職業

ています。将来は、病院に医療機器を販 企業に就職する場合もあります。 は、病院にそれらの医療機器を販売する り管理したりする医療従事者です。 格の職業を御存じでしょうか。 売するために企業に就職したいと考えて **人工透析機器や人工心肺装置を操作した** 私は、臨床工学技士を目指して勉強し 皆さんは、臨床工学技士という国家資 病院内で また

新成人が沼津の未来を語る!

平成28年1月10日に、新成人が議員役を務める新 成人議会が市議会本会議場で開催されました。新成人 35 人が参加し、代表者 10 人が本市の発展を願い、防 災対策や高齢者支援、教育など市政に関する質問を行い ました。

この意見書は、平成27 年12月18日に全会一致 で可決された後、関係官庁 等へ送付しました。

※意見書とは、市だけの努力 では解決できない公共の利 益に関する問題について、 市議会の意思をまとめて国 や県に要望するものです。



地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

将来にわたっての「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」の実現のためには、総合戦略 の政策パッケージを拡充強化し、「地方創生の深化」に取り組むことが必要である。

政府は本年6月30日、平成28年度予算に盛り込む地方創生関連施策の指針となる「まち・ ひと・しごと創生基本方針 2015」を閣議決定した。また、全国の自治体は「地方版総合戦略」 の策定及びそれに基づく取り組みを始めている。

今後は、国が全国の自治体の「地方版総合戦略」に基づく地方発の取り組みを支援するため、 地方財政措置における「まち・ひと・しごと創生事業費」や来年度に創設される新型交付金な ど、今後5年間にわたる継続的な支援とその財源の確保を行うことが重要となる。

そこで政府においては、地方創生の深化に向けた支援として、下記の事項について実現する よう強く要請する。

- 地方財政措置における「まち・ひと・しごと創生事業費」と各府省の地方創生関連事業・補 助金、さらには新型交付金の役割分担を明確にするとともに必要な財源を確保すること。
- 2 本年度に創設された「まち・ひと・しごと創生事業費(1兆円)」については、地方創生に係る 各自治体の取り組みのベースとなるものであるから、少なくとも5年間は維持継続すること。
- 3 来年度に創設される新型交付金については、平成26年度補正予算に盛り込まれた「地方創 生先行型交付金」以上の額を確保するとともに、例えば地方創生のための人材の確保や施設 整備などハード事業等にも活用できるなど、地方にとって使い勝手のよいものにすること。
- 新型交付金事業に係る地元負担が生じる場合は、適切な地方財政措置を講ずること。